

《公民館図書室の部》  
「地域と公民館図書室」  
福島市西公民館図書室 佐藤 芳子  
《利用者の部》  
「児童読書振興と  
ボランティア活動をふりかえって」  
児童図書研究会トトロ 代表  
斎藤 千江子

・分科会 《図書館部会》  
司会者 岩代町図書館 館長 渡辺 啓祐  
助言者 福島県教育庁生涯学習課 社会教育主事  
鎌倉 雅臣

《公民館図書室部会》  
司会者 梁川町中央公民館 主任教諭  
池田 秀子  
助言者 県北教育事務所 社会教育主事  
竹田 正彦

《児童部会》  
司会者 児童図書研究会トトロ 代表  
斎藤 千江子  
助言者 藤町子ども文庫 代表 金田 和枝

・全体会  
議長 福島市立図書館 館長 三瓶 隆夫

### (3) 読書活動指導者養成講座

- ・テーマ “語りの世界 その楽しさ すばらしさ”
- ・期日 平成9年11月21日
- ・会場 福島県立図書館
- ・参加者 図書館、公民館職員／教育関係者／子ども文庫関係者／子どもの本関係者 183名
- ・講師 藤田 浩子

## 6 広報資料の発行

### (1) 館報「あづま」

第48巻第1号～第2号（通巻244～245号）を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等に配布した。  
発行部数 各1,500部

### (2) 平成9年度福島県公共図書館・公民館図書室実綱調査報告書

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等に配布した。

発行部数 350部

平成9年4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、3,922,369冊で、県民1人当たり、1.84冊（前年度1.77冊）、年間増加蔵書冊数、307,578冊である。

また、平成8年度中の貸出図書冊数は、4,774,771冊（県民1人当たり2.23冊）であり、前年度と比べると総冊数では、220,679冊の大幅増である。

### (3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の速報誌として、第33～34号を発行し、県内の図書館、公民館等に配布した。

発行部数 各300部

## 第5節 図書館協力

### 1 相互協力

県内公共図書館の資料・調査・協力のためのセンターとして、また多様化・高度化する利用者要求に因應するため、県内外の各種機関との連携・協力関係の促進を図った。特にその中核となる資料の相互貸借には意を注ぎ、条件整備と関係の緊密化に努めた。

[表10] 相互貸借件数

区分		県内	県外	計
貸出	件数	1,452	68	1,520
	冊数	3,355	151	3,506
借用	件数	35	53	88
	冊数	41	67	108
計	件数	1,487	121	1,608
	冊数	3,396	218	3,614

### 2 県内図書館職員研修会

図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎年行っている。

- ・テーマ 児童サービスについて
- ・期日 平成10年2月13日
- ・会場 福島県立図書館
- ・参加者 図書館／公民館／関係機関職員 80名
- ・講師 大正大学助教授 中多 泰子

### 3 図書館協力事業連絡会議

全県的な図書館のサービス網の充実を図ることを目的として、県内公共図書館間の協力体制のあり方や今後の図書館業務の方向について協議した。

- ・議題 相互利用協定の策定について  
学校図書館とのネットワークについて
- ・期日 平成9年7月4日
- ・会場 福島県立図書館
- ・参加者 図書館／関係機関 25館

### 4 県内大学図書館間相互利用制度

県内の大学図書館と公共図書館との協力体制として「福島県内大学図書館間相互利用制度」があり、その制度の主な柱は、「図書館資料の相互貸借」「複写」「参考業務」及び「一般社会人への共通利用証発行」である。

この制度利用参加市町村立図書館は、県立図書館を含め福島市立図書館、二本松市立図書館、郡山市立中央図書館、須賀川市図書館、白河市立図書館、会津若松市立会津図書館、喜多方市立図書館、相馬市図書館、原町市立原町図書館、いわき市立中央図書館、船引町図書館、小野町ふるさと文化の館、双葉町図書館であったが、今年度新たに三春町民図書館、矢吹町図書館、大熊町図書館が参加加盟館となった。